

(別紙4(2))

事業所名 サロン・ド・フレール羽島

目標達成計画

作成日: 平成28年 8月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	皮膚湿疹が増悪し皮膚科受診後も改善が見られず、医師からは、掻くことが悪化の原因であるとの意見もあり特に掻き筆りがひどい夜間帯のみ拘束ズボンを使用し予防している。拘束ズボンに変更後は改善傾向であるが使用しない日にはやはり掻き筆りがひどく皮膚状態が悪化している。	皮膚湿疹が改善する事により安眠でき拘束ズボンの使用を中止する	①定期的に皮膚科受診を行い、薬の服用と塗り薬(2回/日清拭後)を塗布する ②全身状態の皮膚湿疹の状態を図表に示し1週間単位で検討会を実施する ③皮膚状態に合わせ夜間帯の拘束ズボンの使用時間を短縮又は使用しない日を作る	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。